

特集 地域にもっと訪問リハを！

退院して在宅での生活が始まったものの、日常生活を送るのに支障がある。病院ではちゃんとできていたはずなのに……。このような話をよく耳にします。居室という病室内とは違う環境、日々変化する療養者の体調、介護者の力不足、毎日に行なわれないリハビリ。そこで注目されるのが、療養者・家族の意思を重視し、その人に合わせて実施される訪問リハビリです。現状と課題を明らかにします。

在宅におけるリハビリテーション看護 齋竹一子

PT からみた在宅リハビリテーション 目黒大幸

在宅リハビリテーションにおける OT の役割 福澤阿彌

在宅リハビリテーションにおける ST の役割 櫻井輝弥

介護報酬改定で広がる訪問リハビリテーションの可能性 伊藤隆夫

在宅でできる摂食・嚥下訓練 神田亨

■特別記事

介護報酬改定で訪問看護はどう変わるか＜解説＞ 加藤典子

父の介護をめぐる家族の思い 百々雅子

タクティールケアを通してみえてくるもの 木本明恵

■連載

マグネットステーションインタビュー 木村憲洋／訪問看護時事刻々 石田昌宏／わたしのことをわたしから 富士雄大／精神科医の家族論 服部祥子／広汎性発達障害の理解と援助 細川雅人／高齢者虐待にどう対応するか 和田忠志／ヒト・モノ・バをつなぐ認知症ケア 山崎正人／ほんとの出会い 岡田真紀／お母さんといっしょ 横谷順子／自宅で死んでみませんか 皆川夏樹

編集後記

●平成 21 年度介護報酬改定に、読者の皆様はどのような感想をおもちでしょうか。介護職の待遇に実際どう反映されていくのか、目が離せない問題です。さて、コラムでも取り上げましたが、セミナー「認知症と記憶障害の方への工学的支援」では、看護や介護とは違う視点からの認知症のケアが発表されていました。医療・介護関係のみならず、さまざまな分野からの取り組みが今後さらに増えることで、ますます認知症の方が生活しやすい社会になることを祈ってやみません。富岡

●折り返し地点を走っていたら「これはハーフマラソンで、ゴールすぐはそこだよ、と言われて慌てて立ち止まった」と、闘病の始まりをマラソンにたとえた増渕さん。特集の佐川論文で紹介されている増渕さんのメッセージは『ALL-35 白血病治療日記』として A4 判 156 ページの冊子にまとめられ、この 3 月、増渕さんの講義を受講していた卒業生に贈られたそうです。編集室もその貴重な 1 冊をいただき、明るさを忘れない言葉の数々に胸があつくなりました。伊藤

訪問看護と介護 第14巻 第5号（通巻 155号） 2009年5月15日発行（毎月1回15日発行）

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2009, Printed in Japan

1部定価1,260円（本体1,200円＋税5%） 年ごめ予約購読料13,200円（年間12冊，税込，送料弊社負担）

電子ジャーナル閲覧オプション MedicalFinder パーソナル付 18,200円（税込，送料弊社負担）

発行：株式会社 医学書院／代表者：金原 優／販売部：03-3817-5659／社内案内：03-3817-5600

「訪問看護と介護」編集室：直通 03-3817-5787 FAX 03-5804-0485 担当：富岡・伊藤・早田

Eメール houmon@igaku-shoin.co.jp 医学書院ホームページURL <http://www.igaku-shoin.co.jp>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）医学書院が保有します。

【JCLS】＜（株）日本著作出版権管理システム委託出版物＞

本紙の無断複写は著作権法上の例外を除き禁止されています。複写される場合は、そのつど事前に（株）日本著作出版権管理システム（電話03-3817-5670、FAX03-3815-8199）の許諾を得てください。本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された「0917-1355/05/¥250/論文【JCLS】」は、1論文1回複写につき250円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCLSへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。